

9/3(土) 「RETROSPECTIVE DATABASE DESIGN AND ANALYSIS」

プログラム概要：

レトロスペクティブ研究を行う際の基礎的な設計・分析手法

講師：

・ **Jeff J. Guo**, PhD, Professor, Division of Pharmacy Practice & Administrative Sciences, University of Cincinnati, Cincinnati, OH, USA

・ **Xin Sun**, PhD, Professor, Chinese Evidence-Based Medicine Center, West China Hospital of Sichuan University, Chengdu, China

全体を通しての感想：

レトロスペクティブ研究ではバイアスや交絡因子を調整するための疫学研究デザインを考える必要があり、複雑な分析方法のルール設定が不可欠であるといった話から始まり、ISPOR のタスクフォースによる研究に沿って基礎的な設計戦略、分析的手法と遡及的なデータベースを用いた研究の説明へと話は移行し、曝露の測定、因果グラフ、併存疾患の処理、多変量モデリング前の層別解析、コックス比例ハザード分析などの多変量回帰分析、傾向スコアマッチング、データクリーニング等々、入門レベルと謳ってはいるものの、基本的な定義の話から回帰モデルの利用までレトロスペクティブ研究の内容について幅広く触れていると感じられる講義でした。(以上 MY)